



「住みよいまちづくりの一つの起点となる企画だった」と語る、前田さん

斬新だった住民目線による 行政事業の洗い出し

昨年10月5日市役所大会議室(傍聴者のいる公開の場)において実施された第2回「市民参画による『事業仕分け』」に、一般市民評価者として参加しました。私の参加した第2班では、市の仕事(事業)のうち10事業の仕分けを行いました。

それぞれ担当職員の事業説明があり「そもそも必要な事業かどうか」に始まり、具体的な事業内容にわたる「仕分け人」と「担当職員」の白熱した議論から最終的な事業の「評価」が行われました。住民目線で「行政の事業」を洗い直すこの取り組みは、大変斬新な手法だと思えました。

はっきり見えてくる

真に必要な行政サービス

「一般市民評価者」として侃々諤々の議論をもとに住民にとって何が必要かを考えて、それぞれの事業「評価」を行いました。これら忌憚(きたん)のない議論の内容は、私にとってそれまで漠然と捉えていた行政サービスを、市民生活により密着したものとして考えることがで

きました。

まちづくりには 情報共有と住民参加が不可欠

日ごろ、多くの行政サービスを享受して生活している私たち住民は、道路・福祉・ごみ処理など、どれ一つとつても行政との関わりなくしては問題解決をすることはできません。今後、限られた財源・人員の中で「行政の事業」の選択と集中を進めていくには、なお一層市民との情報共有や住民参加の徹底を図ることが必要であり、継続してこの「事業仕分け作業」を進めていくことが住みよいまちづくりの一つの起点になるものと考えます。

前田太二さん 与縄在住。都留市という「まち」、盛里という「地域」にとっても誇りを持ち、現在、盛里地域協働のまちづくり推進会の副会長や都留市男女共同参画推進委員会の委員長として性別や年齢などに捉われずに互いの立場を理解し思いやる地域社会の実現に取り組みまれています。また、最近では、情報通信格差の解消を目的に盛里地区において実証実験が行われた「衛星ブロードバンド活用地域実証実験」の導入研究ワーキンググループのリーダーとしても活躍されました。ご自身としては、山岳会に所属され、各地の山を楽しむと同時に、山の仲間を中心に設立した「NPO法人ハートオブ地域塾」の理事長として、住み心地のよい、人に優しい地域文化の創造を目指しています。

地域の主役はあなた！！ みんなで地域を盛り上げよう！！

あなたも始めませんか？ 協働のまちづくり

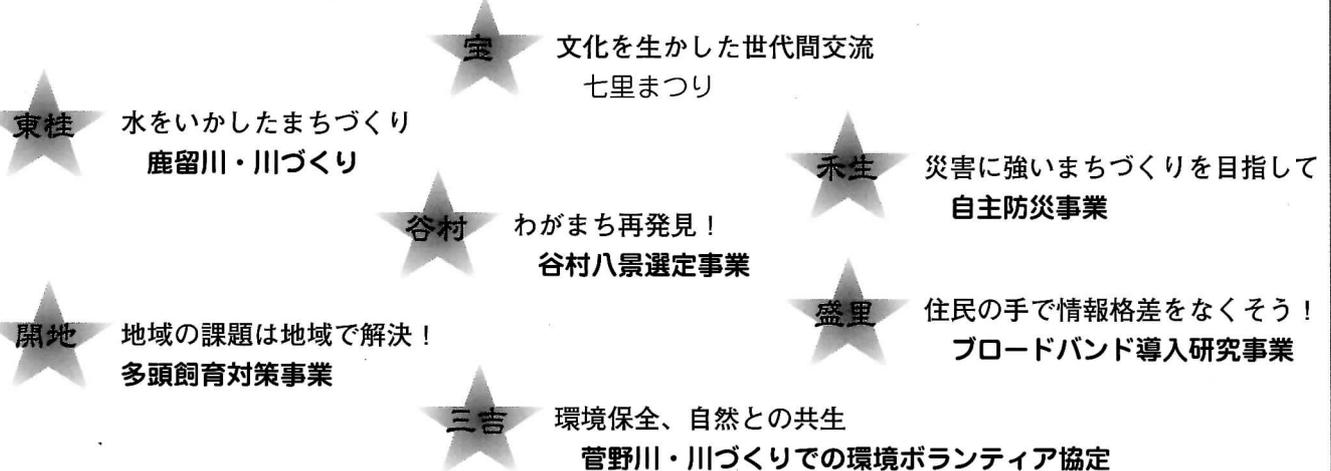
あなたの身の回り「地域でこういう事をやりたい！」「地域をこうしたい！」という方やあなた自身のアイデアはありませんか？みなさんのその思いが実現できる場所があります！

地域協働のまちづくりに参加して新しい仲間と出会い、一緒に住みやすい地域をつくりませんか？

どんな活動をしているの？

市内全7地域に協働のまちづくりが立ち上がってから3年がたちました。現在は、地域ごとに特色のある事業を実施中です。これらは、そこに住んでいるからこそ出たアイデアがもとになっています！

次に示した事業はほんの一部です。



まずはご相談ください！ 都留市まちづくり市民活動支援センター ☎ (46) 5236